

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEIF新座		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 11日		2026年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 9日		2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い公園や体育館で目一杯身体を動かす環境を提供できている。	たくさん身体が動かせるように待ち時間を減らしたり、全員で動けるプログラムを作ることによって集中力を切れさせないようにしている。	専門的支援計画と連動して児童の個別課題を支援していく。
2	学校休校日に毎回イベントを行っており、児童に飽きさせず色々な経験をしてもらっている。	春休みなどの長期休暇や祝日を利用して、同じようなイベントが連続しないように日程の調整を行っている。また『遠足』『買い物体験』『製作』『ボウリング』など、様々なイベントを企画している。	利用者が興味関心を引くものを、できる範囲の中で新たに企画立案していく。
3	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明。	契約時にしっかりと時間を取って丁寧な説明ができていいる。不明な点があれば都度連絡をいただいております、対応することができています。	引き続き契約時の丁寧な説明に加えて、初回利用後にフォロー連絡をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導員の専門性の質	経験が浅い指導員が多く在籍しているため、療育における専門的な知識がまだ身につけていない。対応における引き出しが少なく支援できる内容が薄くなってしまふ。	毎日実施しているケース会議など、現場で学べる知識や研修などを通じてスキルアップに繋げる。
2	事業所スペース	事業所スペースに限りがあり、静養室を確保することが難しい。	簡易テントやパーテーションなど、訓練室に仕切りを一時的に設けていくことや、相談室を静養室として開放していく。
3	指導員配置	男性職員が多く女性職員の比率が低いため、利用者に合わせて対応が困難な場面が生まれてしまふ。	事業所として女性職員の採用や、他事業所からのヘルプを含めた柔軟な人員配置をしていくことが必要。